

資金繰り改善アドバイス事例

B社は、創業41年目のビル管理業です。事業承継を具体的に進めていく中で、資金繰りの改善にも取り組みたいとご相談に見えました。

ここ最近の損益状況は上向きにありますが、銀行借入れが多く、先代社長が銀行取引に疎かったため、返済額は年額46,500千円にもものぼり、本業で稼ぎ出すキャッシュフロー（経常収支）では全く足りず、毎年追加で運転資金を借りて資金繰りをしのいでいる状況にあります。さらに役員借入金も個人的に金融機関から借りているため、返済があることから止められず、それも含めると年間で経常収支の倍近くの返済をしている状況です。

メインバンクのA銀行は銀行側の諸事情により積極的な支援を期待できず、サブバンクに頼らざるを得ない状況にあり、新規銀行との取引も視野に入れたいところです。

資金繰り改善のための対策についてどのような対策案が考えられるでしょうか？

主に財務収支の改善からのアプローチで検討してください。

科目	金額	科目	金額
現金・預金	40,100	買入債務	19,700
売上債権	58,000	短期借入金	15,000
棚卸資産	4,100	その他流動負債	25,600
その他流動資産	5,500	流動負債合計	60,300
		長期借入金	238,000
流動資産合計	107,700	(内、金融機関)	206,000
有形固定資産	131,500	その他固定負債	9,000
無形固定資産	20,200	固定負債合計	247,000
投資等	71,200	負債合計	307,300
		資本金	20,000
		利益剰余金	3,300
固定資産合計	222,900	純資産合計	23,300
資産合計	330,600	負債資本合計	330,600

	第39期	第40期
	実績	実績
売上高	407,000	454,700
売上原価	289,500	311,000
売上総利益	117,500	143,700
販管費合計	105,400	107,000
内、減価償却費	2,200	3,300
営業利益	12,100	36,700
営業外収益	9,300	6,500
営業外費用	8,000	18,000
経常利益	13,400	25,200
特別利益	1,500	100
特別損失	14,600	20,000
税引前当期利益	300	5,300
法人税等	320	320
当期純利益	-20	4,980

【借入内訳】 単位：千円

短期借入金	15,000	長期借入金	206,000
A銀行	15,000	当座貸越（枠20,000）	
		A銀行（10口）	116,670
		商工中金（2口）	23,320
		B信金（3口）	55,186
		公庫（1口）	10,824

	A銀行		B信金		商工中金		公庫	
	借入残高	月返済額	借入残高	月返済額	借入残高	月返済額	借入残高	月返済額
①	2,805,000	15,000	28,570,000	712,000	17,620,000	333,000	10,824,000	286,000
②	24,702,000	298,000	900,000	100,000	5,700,000	100,000		
③	10,500,000	250,000	25,716,000	357,000				
④	19,142,000	417,000						
⑤	9,952,000	209,000						
⑥	4,540,000	84,000						
⑦	3,424,000	50,000						
⑧	3,500,000	63,000						
⑨	7,625,000	125,000						
⑩	30,480,000	476,000						
合計	116,670,000	1,987,000	55,186,000	1,169,000	23,320,000	433,000	10,824,000	286,000